

教科（科目）	国語（言語文化）	単位数	2単位	学年（コース）	1年次 必修
使用教科書	『高等学校 新編言語文化』（第一学習社）				
副教材等	『5訂版 常用漢字オールクリア』（尚文出版）				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字や古典の基礎知識などの確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に読み取る力を養い、論理的に考えたり、想像力を働かせたりすることで、多角的なものの見方を身につけさせることを目指します。
- ③ さらにそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。

4 評価基準と評価方法

評価は次の観点から行う。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物の内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	近現代小説を読む（一）	C（4）	「よるこびの歌」 宮下奈都	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・叙述を基に主人公の心情を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	a b c	ノート（記述の点検） ワークシート（記述の確認） 発表の様子（行動の確認） 振り返りシート（記述の確認）
4 5	古文 古文入門	C（5）	鳩と蟻のこと	・『イソップ物語』の翻訳という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
5 6	古文 古文入門	C（6）	一休ばなし	・話の展開と内容を押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 ・積極的に説話を読み味わい、叙述に基づいて機知の内容を説明しようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
6	前期中間考査	（1）			a b	ペーパーテスト（記述の分析）

7	近現代 小説を読む (二)	C (4)	「ほねとたね」 川上弘美	・段落構成や展開を積極的に把握し、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・主人公の視点や観点を理解し、心情の変化を読み取ろうとしている。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
7	近現代 短歌と俳句	C (3)	大切の言葉 手毬歌	・伝統文化の一つである短歌、俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人、俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈するとともに、情景や心情を鑑賞する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	短歌と俳句	B (5)	【言語活動】 折句を用いて短歌を作る	・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	漢文 漢文入門	C (8)	漢文の学習 訓読に親しむ (一) (二) (三)	・漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	前期期末考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
10	近現代 小説を読む (二)	C (6)	「羅生門」 芥川龍之介	・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	古文 古文に親しむ	C (7)	児のそら寝	・現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文の世界への親しみを深める。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	後期中間考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
12	漢文 故事成語	C (8)	五十歩百歩 矛盾 狐借虎威	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
12	漢文 故事成語	B (5)	【言語活動】 故事成語の由来と意味を調べる	・課題に応じて調査する。 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	近現代 小説を読む (三)	C (3)	「わたしはマララ」 マララ・ユスフザイ	・自伝的小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・紛争や教育差別などの問題に興味を持ち、本文の学習を通して世界の諸問題について調べようとしている。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	古文 物語を楽しむ	C (6)	伊勢物語	・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	後期期末考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)

計 70 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	B「書くこと」 10時間	C「読むこと」 古典 40時間 近現代の文章 20時間
-----------------	-----------------	--------------------------------

6 課題・提出物等

- ・各単元ごとに漢字や語句の基礎テストがあります。
- ・単元ごとに振り返りシートを記入し、提出することになります。休業中の課題は、別途指示します。

7 担当者からの一言

「言語文化」は、社会生活に必要な国語の知識を身に付けるだけでなく、伝統的な言語文化に対する理解を深めていく科目です。授業では、基礎基本を大切に、次年度の科目にもつながるように主体的に学びましょう。言葉の正しい理解と作品の深い読解を心がけ、自らの生活を豊かにする姿勢を養いましょう。